

弥富市の財政状況

市では、毎年2回財政状況を公表しています。これは、市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われているかをご理解いただき、市政に対するご協力をお願いするものです。

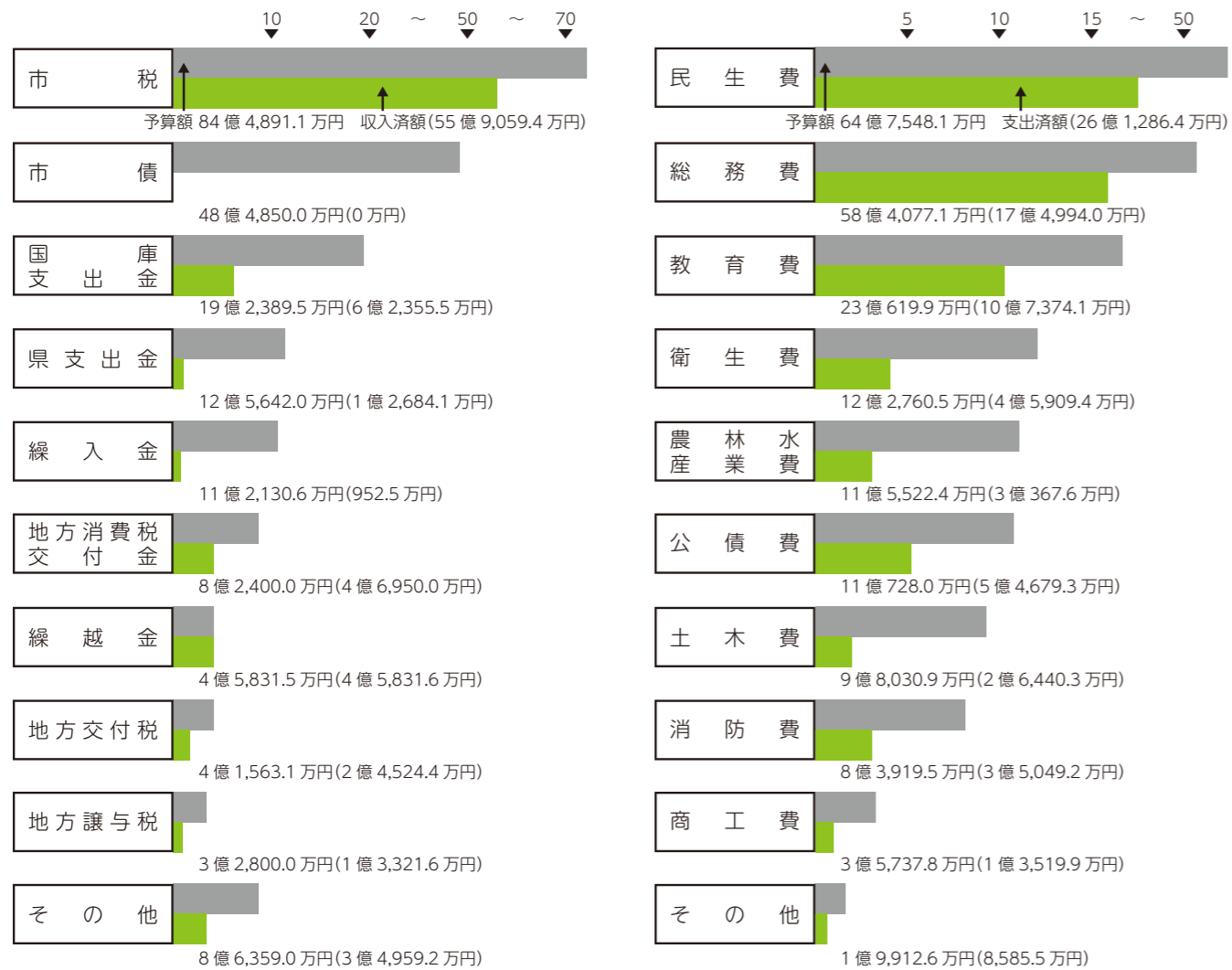
令和元年度予算の9月30日現在の執行状況は、一般会計の現計予算額204億8,856.8万円に対し、収入済額80億638.3万円、支出済額75億8,205.7万円となっています。

市債の現在高は、総額184億446.2万円で、このうち一般会計の現在高は、110億4,371.8万円で全体の60.0%を占めています。

令和元年度一般会計現計予算及び執行状況

歳入 歳入予算額 204億8,856.8万円
収入済額 80億 638.3万円

歳出 歳出予算額 204億8,856.8万円
支出済額 75億8,205.7万円



市有財産の状況

土地	906,392.79㎡
建物	148,532.61㎡
有価証券その他(うち基金)	25億5,904.7万円 (25億2,350.0万円)

市債の状況

●市債現在高 184億446.2万円

一般会計	110億4,371.8万円 (60.0%)
農業集落排水事業特別会計	14億3,359.7万円 (7.8%)
公共下水道事業特別会計	59億2,714.7万円 (32.2%)

広島研修

広島平和学習

弥富中学校 岡本 悠吾

【原爆の恐ろしさ】

原爆とは?原子核を人工的に壊したときに生まれるエネルギーを兵器として利用したもの。この爆発の瞬間、強烈な熱線や放射線、超高圧の爆風が複雑に作用して大きな被害をもたらした。原爆によって広島市内全域で昭和20年までに約14万人が死亡、建物の90%以上が破壊、焼失した。原爆の恐ろしさは、この爆発の瞬間だけでなく放射線による急性障害(発熱・吐き気・下痢)や、被爆後、年月を経て起こる後障害(白内障・白血病・がん)で亡くなる人も少なくなかったそうだ。爆発後、粉じんや放射性物質を含んだ黒い雨を浴び、症状が出ることもあったそうだ。



【戦艦「大和」】

～大和年表～

- 昭和9年日本海軍が極秘で造船開始(呉にて)
- 昭和16年12月16日 大和完成(長さ263m 幅38.9m)だが、主役は戦艦から航空機になっていて、多くは後方支援任務に使われた。大和はアメリカの量に対し、質で対抗した。当時の最新技術の結晶と言えるもの。バルバスバウ…船首の水線下に球状の突起をつけることで抵抗を約8%減らせた。
- 昭和20年4月5日 沖縄海上特攻の命令が下る。救護する航空機もない中、アメリカ軍の上陸した沖縄へ向かうことになる。海上でアメリカ軍機の攻撃を受けた。応戦したが多数の魚雷、爆撃の命中で、14時23分に沈没した。3056名の尊い命が失われた。



【感想】

すごく悲惨でたくさんの命が失われたこの戦争。原爆が世界で初めて落とされて数えられないほど多くの人々が亡くなり、今も身元不明でねむっている人もいるという被害、人々の心にも大きな傷を残したと思う。実際に広島に行って、原爆のすごさ、恐ろしさがよくわかったし、本当に戦争のない平和な時代に生まれてよかったと思った。戦時中は満足に食料も得られず苦しめ、餓死してしまう人もいたと聞き、戦争は食料にも影響を与えるんだと思った。この研修でこの悲劇を二度と繰り返さないように努力をしていかないといけないと、とても思った。



特攻隊の本当の気持ちとは

弥富中学校 野村 くらみ

【特攻とは】

確実に撃破するために航空機に爆弾を積んで敵艦に体当たりでぶつかっていくことだ。つまり、出撃したら二度と帰ってくるできない決死の作戦だった。特攻隊の中で代表的なのは、ゼロ戦や人間魚雷、有人ミサイルがある。その特攻機に寄せられたのは、経験の少ない10代後半～20代前半の若いパイロットばかりだった。



【特攻隊の胸中】

大和ミュージアムでは、人間魚雷で亡くなった人の遺言を肉声で聞くことができた。その声は、本当の事実を語る無感情な声とは反対に愛する家族、故郷への熱い思いが残っていた。本当は特攻するのが絶対、怖かったら。けれどそんな弱い気持ちなど思ってもなかったかのように、国のため、故郷のためと言い、亡くなっていった人たちがかわいそうではなかった。



特攻へ行き、亡くなった人は合計で4,000人もの人たちが、我が国のために二度と帰らぬ人になってしまった。そんな大切な命を4,000個も戦争のために利用した。日本の作戦は最低な考えだと思う。

【感想】

戦争のことについて、たくさんのことを学び一番大切だと思ったことは、なぜ戦争を起してしまったかだけでなく、世界中が平和になっていくことについて深く考え、行動していくことだと思う。例えば、私は今を精一杯生きる。他の国では、まだ戦争をしていたり、ご飯が食べられない人がたくさんいる。そう考えると、なんて私は恵まれた生活をしているのだと思う。昔では考えられなかったことが、当たり前になっていることに感謝したい。今でも世界中が平和にならない。それは考えが一人ひとり異なっているからだと思う。だから、私は相手の気持ちになり、考え行動することが大切だと改めて考えることができた。